

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Jul 2013.7
No.1017

表紙

本別バレーボール協会創立50周年記念事業
大山加奈バレーボールクリニック



脳卒中・心臓病

帯広市内へ直接救急搬送

脳卒中 帯広市内へ直接救急搬送

より早く高度な専門治療を

本別消防署では7月1日から、救急搬送で傷病者に「脳卒中」または「心臓病（心筋梗塞・狭心症など）」の疑いがある場合に、より早く高度な専門治療が受けられるよう、帯広市内の専門病院へ直接救急搬送します。

後遺症の軽減・

早期の社会復帰を期待

これまでの救急搬送は、帯広市内の専門医療機関へ搬送するのに1時間程度かかることから、一番近い医療機関であり、本町の救急告示病院である町国保病院に第一に搬送することを原則としていました。しかし近年、脳卒中などに対する医療技術の進歩や薬の向上等により、搬送に1時間程度要しても専門的な治療を早期に受けることで救命できる可能性が高まっています。これを受け、本別消防署では、専門性の高い「脳卒中」「心臓病（心筋梗塞・狭心症など）」が疑われた場合に、ご本人・ご家族の了解のもと、帯広市内専門病院医師の判断・指示に基づき、直接帯広へ救急搬送することとしました。専門病院での治療開始までの時間が短縮されるとともに、後遺症の軽減や早期の社会復帰などが期待されます。

なお、専門病院医師が町国保病院への搬送を指示した場合には、町国保病院へ搬送となります。

搬送先の決定は、 専門病院医師が行います

脳卒中や心臓病が疑われた場合には、必ず帯広市内へ直接搬送するというものではありません。症状によっては、町国保病院で緊急処置を行う場合もあります。

帯広市内の専門病院に搬送が想定される場合	直接搬送が想定される帯広市内の病院
○脳卒中が疑われる場合 症状・急に手や足がしびれる ・急に頭が痛くなる（激しい頭痛） ・舌がもつれる、ろれつが回らない など	・帯広厚生病院 ・北斗病院 ・帯広第一病院
○心臓病（心筋梗塞・狭心症など）が疑われる場合 症状・胸が締め付けられるような痛み ・呼吸困難、吐き気、冷や汗 など	・帯広厚生病院 ・国立病院機構帯広病院 ・北斗病院 ・帯広協会病院 ・帯広第一病院

町国保病院に搬送する場合

- 心肺停止状態など、早急に生命に危険を及ぼす重篤な状態の場合
- 専門病院の医師が直近病院受診を指示した場合
- 脳卒中・心臓病以外の病気が疑われる場合
- 点滴や血圧を下げる薬など、早急に緊急処置が必要な場合
- 本人・家族が町国保病院への搬送を希望した場合
- 帯広市内専門病院で受け入れができない場合 など



心臓病とは
 主な心臓の病気には心筋梗塞や狭心症、心不全、不整脈などがあります。主に動脈硬化の進行や心臓を取り巻く血管が狭くなってしまふことが原因です。動脈硬化の要因となる血中の悪玉コレステロールや中性脂肪を増やさないためにも、高カロリー食を控え、運動を心掛けるなど、生活習慣の改善が病気の予防に役立ちます。

脳卒中とは
 脳卒中には脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があり、いずれも脳の血管が詰まったり、破れたりすることで体の麻痺や意識障害を引き起こす病気です。主な原因は高血圧からくる動脈硬化などで、高血圧を防ぐのが最大のポイントです。食生活を見直し、塩分を取り過ぎない、たばこを控えるなど生活習慣にも注意しましょう。

病気について知り、予防しよう
 病気について知識を深め、予防を心掛けて生活することも命を守るために大切です。いっどこで誰に起こるかわからないからこそ、日ごろの備えが重要です。

慌てない! あせらない! 落ち着いて!
119番通報

救急隊員が電話に出たら
 「火事ですか、救急ですか」と聞かれますので、「救急車をお願いします」と伝えてください。
 続いて、次のことをはっきりと伝えましょう。

- ①住所 (町名・番地・目印等詳しく!)
- ②名前 (名前がわからない場合には、「40代男性」などと伝えてください)
- ③症状 (できるだけ詳しく! <例> 胸の痛みを訴えている、突然倒れたなど)

交通事故の場合は…
 事故の場所、道路名、近くの目印を伝えてください。

万が一のとまきは…
 家族や友人など周りにいる人が万が一、胸の痛みを訴えたり、ろれつが回らなくなったとき、大きなケガをして自力で病院に行けない場合などは慌てず落ちついて119番通報してください。

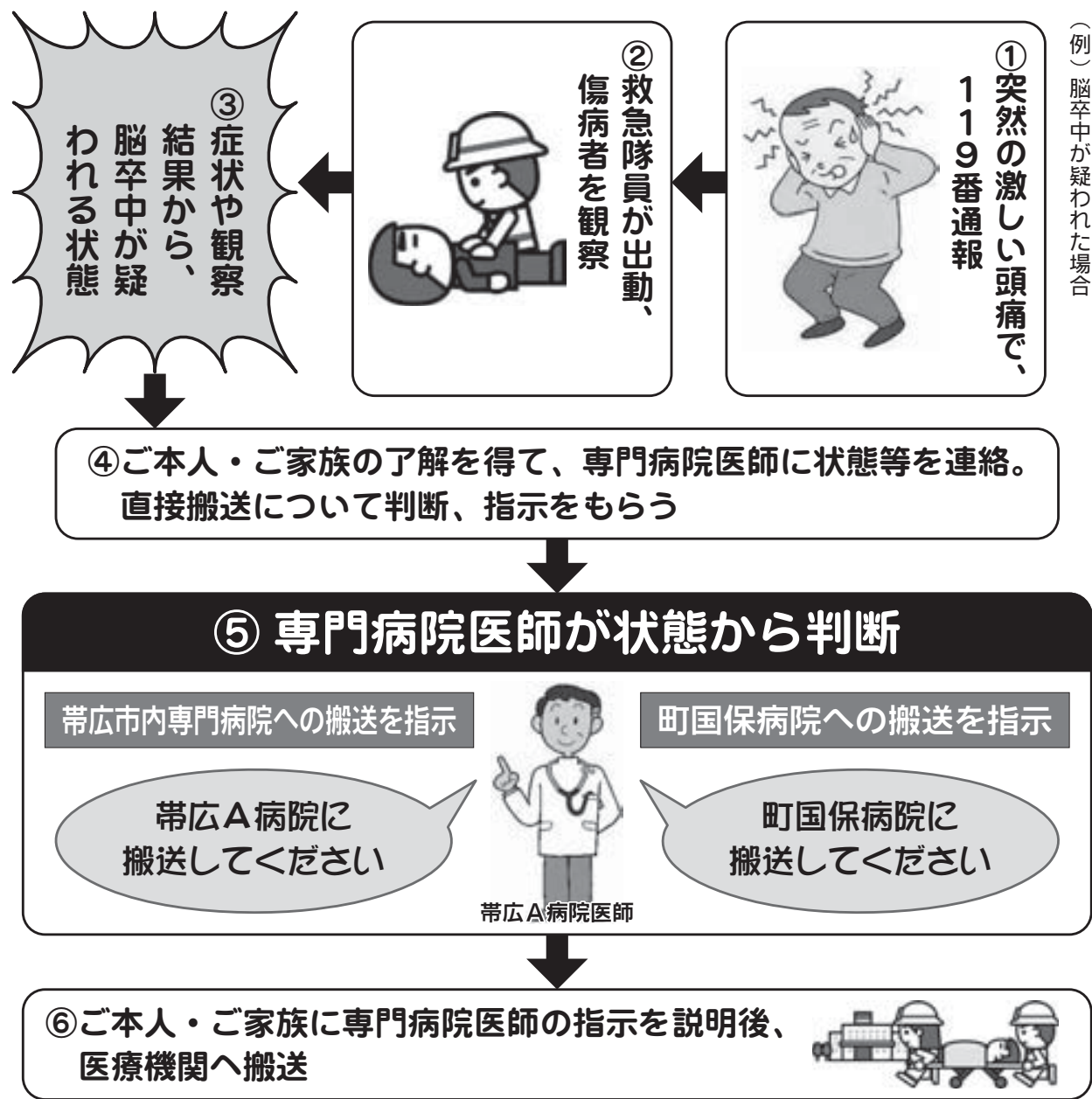
緊急時には私たち救急・消防隊員が駆け付けます



本別消防署では、隊員22人が常時町民の皆さんの命や財産を守るため、救助・救命技術の向上に努めています。

問い合わせ 本別消防署 ☎22-2007

直接救急搬送の流れ



かかりつけ病院が帯広市内の病院というだけでは、直接搬送はできません

直接搬送は、あくまでも救急隊が観察した結果、脳卒中・心臓病が疑われる場合に医師の判断に基づき行うものです。かかりつけ病院が帯広市の医療機関であるというだけでは、ご本人、ご家族から直接帯広市へ搬送を依頼されても搬送することはできません。ご理解いただきますようお願いいたします。

妊婦さんは「妊婦エントリーネット119」の活用を

本別消防署では、平成24年4月から妊婦情報事前登録制度「妊婦エントリーネット119」を運用しています。この制度に登録している妊婦さんが腹部などに異常や出血が見られ、緊急な治療が必要と判断された場合には、十勝管内の出産予定病院へ直接搬送を行っています。利用方法など詳しいことについてはお問い合わせください。

本別空襲の日

決して忘れてはならない7月15日

平和への誓い
新たに

第二次世界大戦終戦間際の昭和20年7月15日、本別町は十勝で最大の被災地となる空襲を受けました。本別町史には「米軍機は、まったく非武装の本別市街を、地上から乗員の顔やジャンパーが見えるほどの超低空飛行で機銃弾を打ち込み、爆弾を投下するなど、およそ50分にわたり攻撃を繰り返した」とあります。40人が死亡し、279戸が全焼。被災者総数は1915人、火事は手のほどこしようがなく三日三晩に及び、一時は火の明かりで日常の作業ができるほどであったといえます。それから68年が経過し、町並みも生まれ変わり、今や戦争の傷跡を見つかるのも難しくなりました。空襲を受けた私たち本別町民は、この悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあった7月15日には、空襲で犠牲になられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と悲惨な戦争を起こさないことを誓うため「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が行なわれています。そして7月15日を中心に語り継ぐための事業が開かれます。



空襲を受け3分の2が焼失した本別市街



JA本別町生産資材倉庫 ほんべつ学びの日 祈風事業 企画展「7月15日本別空襲を伝える ～十勝に残る戦争跡地～」

十勝で最大の空襲被害を受けた本別町。そのとき十勝の他市町村はどうなっていたのか。今では少なくなった各地に残る戦争跡地などを紹介し、十勝の空襲と本別空襲のつながりに触れ、戦争と平和について考えます。

期 間 7月2日(火)～8月30日(金)

開館時間 午前9時～午後4時
※土曜日は午後3時まで

休 館 日 日・月曜日、祝日
※7月15日(月)は臨時開館(午後3時まで)

と ころ 本別町歴史民俗資料館

展 示 内 容
本別空襲を伝える(資料館収蔵資料展)
十勝に残る戦争跡地
当時子どもだった体験者から今の子どもたちへ

入 館 料 無 料

問 い 合 せ 歴史民俗資料館
☎22-2141(内線410)

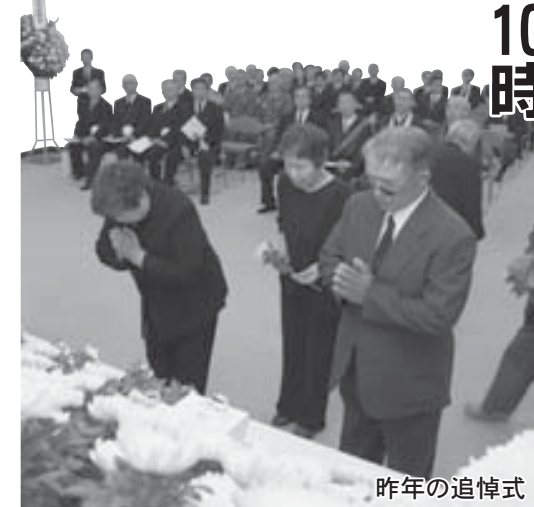
本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき **7月15日(月) 午前10時**

ところ **ふれあい交流館(向陽町)**

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。追悼式は午前10時に始まり、黙とう、追悼のことば、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんの参加をお願いするとともに、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時05分ころに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。

黙とうをお願いいたします



昨年の追悼式

国民年金

その135

国民年金保険料 免除申請制度

経済的、失業等の理由から保険料を納付することが困難な場合は、所得などに応じて保険料の全額または一部が免除となる「免除申請制度」のご利用をお勧めします。免除世帯の構成人数等により、免除区分を決定する際の所得制限額が異なりますので、詳細はお問い合わせください。



対象となる人

○所得が一定以下の人
○天災、失業等の理由により保険料を納めることが困難な人

免除となる期間

免除期間は、7月から翌年の6月までです。原則として毎年度7月に免除申請が必要ですが、全額免除については申請時に「継続申請」を希望すると、翌年度からは本人の申請手続きが不要になります。

免除区分

免除区分	納付額(月額)
全額免除	なし
4分の3免除	4分の1納付 3,760円
半額免除	半額納付 7,520円
4分の1免除	4分の3納付 11,280円

保険料の納め忘れにご注意ください!

免除が認められても、全額免除以外の人は減額された保険料の納付が必要です。納め忘れるとその期間は未納扱いとなり、障がいや死亡といった不慮の事態が発生した場合に、障害年金や遺族年金などを受けることができなくなります。

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128



緊張のスタート

気持ちを合わせて、12人13脚

応援合戦

フォークダンス

幼児も頑張ります

力が入ります

勇足保育所
勇足小学校・中学校大運動会
スローガン
勇足小学校「輝く優勝目指し心を一つに
力いっぱいがんばろう!!」
勇足中学校「上下天光」

6/1 SAT

本別中学校体育祭

5/25 SAT

スローガン 「Attack or Defend」



頂上のフラッグ目指して

とにかく全員が走ります

笑いを誘った部活対抗リレー

いくつ入ったかな?

渾身の力で

最高ですっ
輝く汗
はじける
笑顔



多勢の人が参加した、もちまき

なかなか上手に...

呼吸を合わせて

よさこい2013

応援パフォーマンス

仙美里中学校同校記念
仙美里保育所
仙美里小学校・中学校合同運動会
スローガン
仙美里小学校「チームの力を信じ、勝利をつかめ!」
仙美里中学校「絆〜one for all, all for one〜」
6/2 SUN

運動会 体育祭

地域の一大イベント
運動会・体育祭。今年も、グラウンドでは幼児から中学生までが元気な姿で躍動し、爽やかな汗を流しました。

今年も5月下旬から6月上旬にかけて、町内小中学校グラウンドで地域の一大イベント運動会・体育祭が開催されました。

本番に備え、一生懸命練習を重ねてきた子供たちは、運動会・体育祭スローガンの下、個人・団体種目で勝利を目指し力の限り奮闘。父母や地域の人が参加する競技も用意されるなど、各校の趣向を凝らした内容に、応援に駆け付けた家族や祖父母、子供たち全ての人が楽しい1日を過ごしました。



曲に合わせてダンス。列列です

4年生伝統、本別競輪

大玉ころがし

1年生による玉入れ

知恵と力の騎馬戦

決まりました!

本別中央小学校
運動会
スローガン「Let's チャレンジ
協力し、あきらめない!」
6/1 SAT

帯広シティーケーブル

新エリアサービス開始報告会



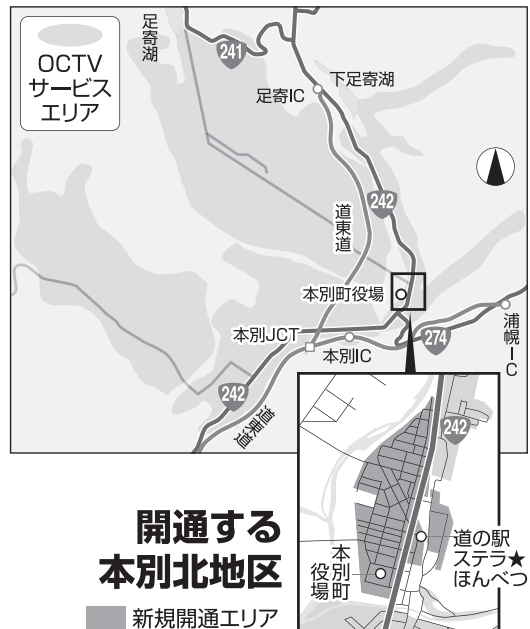
「まいチャンネル」を視聴する(右から)林代表取締役、高橋町長、ケーブル工事を担当した古河電気工業東陽太郎北海道支社長

今回新たにこのサービスが開始となったのは、市街地北地区の約800世帯。これに伴い、平成23年6月から対象エリアとなっていた町内農村地区および市街地南地区と合わせ、町内約8割の地域で同サービスが受けられるようになりました(図)。

報告会では、帯広シティーケーブル林浩史代表取締役が新エリア開通の喜びと感謝の思いを語ったほか、「本別町発展のため、情報産業として今後も頑張ります」とあいさつし、高橋正夫町長は「世界に発信できる情報ネットワークを生かし、本町のまちづくりを発信していきます」と話しました。引き続き新エリア開通を記念しOCTVから町へ60型液晶テレビが寄贈され、林代表取締役から高橋町長へ目録が手渡されました。

最後には、出席者全員で町内飲食店などが紹介されたOCTVの番組「まいチャンネル」を視聴しました。

(図)



市街地北地区がOCTVサービスエリアに

光ケーブルを利用した高速インターネット、テレビ放送サービスを提供するOCTV(帯広シティーケーブル)の、新エリアサービス開始報告会が5月29日、役場で開かれました。

住民総参加型スポーツイベント

チャレンジデー2013



- ① 柏木町自治会のウォーキング
- ② 早朝ノルディックウォーキング教室
- ③ チャレンジデー当日朝の様子
- ④ 「おはようラジオ体操」町スポーツ推進委員の精鋭で結成されたチーム「T」が皆さんの前で
- ⑤ おはようラジオ体操参加者
- ⑥ 向陽町自治会のラジオ体操
- ⑦ ガンバルーン体験会
- ⑧ 弓道体験会
- ⑨ ゲートボール大会

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を競い合うスポーツイベント、チャレンジデー2013(笹川スポーツ財団など主催)が5月29日、町内全域で実施されました。

見事に目標達成 そして金メダル!

本別町の参加は今年3回目で、実行委員会(大西光夫実行委員長)を組織し、「全町民の参加率50%」を目標に取り組みました。

この日は、午前6時の早朝ノルディックウォーキング教室を皮切りに、実行委員会や自治会、各種団体によるイベントが実施され、多くの町民が1日を通して個人あるいは団体でスポーツや運動に親しみました。中でも、オープニングイベント「おはようラジオ体操」には、出勤前のサラリーマンなど約130人が参加。集計では人口8074人(2月1日現在)に対し参加者4959人と、昨年を12.9ポイント上回る61.4%の住民参加率を記録し、見事に目標を達成しました。

気になる対戦では、対戦相手の山梨県南部町に3・1ポイントの僅差で勝利。参加率に応じたメダル授与では、金メダルを獲得しました。



第11回ほんべつ元気学宿（実行委員会主催＝山下健司実行委員長）が6月16日から21日の6日間、中央公民館で行われました。



共同生活で 一回り成長

この学宿は、親元を離れた集団生活の中で、家事など身の回りのことを自分の力でやり遂げる体験を通し、協調性や社会性を学んでもらおうと平成16年から実施されています。参加した町内の小学5・6年生12人は、北海道教育大学釧路校の大学生8人や地域ボランティアなどの協力のもと、昼間は学校に通い、夜は普段親にしてもらう買い物や夕飯作り、洗濯に奮闘。毎年好評の流しそうめんや大学生によるレクリエーション、学びサポート「特別授業」も行われ、5泊6日間の共同生活を終えた子供たちは、一回り成長した、たくましい表情を浮かべていました。



花を育てることを通じて、協力・感謝することの大切さや命の尊さを学ぶ「人権の花運動」の花苗の贈呈式が6月11日、仙美里小学校（寺島康博校長、31人）で行われ、本町の人権擁護委員3人から5種類222株の花苗が児童へ手渡されました。

花を育て、 命の尊さを学ぶ

贈呈式では、本町の人権擁護委員を代表し、棚村憲昭委員が「花には花の命があります。この花を大事に育てて、命の大切さを理解してもらいたい」とあいさつした後、児童会長の五野井嶺くんが「水やりや草取りなど、みんなで協力して花を育てます」と述べました。児童らは受け取ったマーガレット、インパチェンス、クスコ、オステオスペルマム、ブルーデージーの花を今年度新しく同校玄関前にできた花壇とプランターに丁寧に植え、校舎の周囲を鮮やかに彩りました。

今後、同校ではこの花を活用した写真会のほか、人権教室が行われる予定です。



- ① 花苗の贈呈
- ② あいさつをする五野井くん
- ③ きれいな花に子供たちも笑顔

本別バレーボール協会 創立50周年記念事業 大山加奈

バレーボールクリニック



本別バレーボール協会（大西光夫会長）創立50周年を記念し、2004年アテネオリンピックをはじめ数々の世界大会等で日本代表として活躍した、元バレーボール選手大山加奈さんを招いたバレーボールクリニックが6月8日、小中学生を対象に本別中学校体育館で開催されました。大山さんは、「楽しく、元気にバレーボールを頑張りましょう」とあいさつした後、ウォーミングアップやボールを使ったゲーム、パスなどの基本動作を通して、バレーボールの楽しさを伝えました。

ボールと仲良くなり 心を一つにすること

大山さんは、見本を見せながら、オーバーパスは「膝、肘、手首を上手に使うこと」、サーブレシーブは「ミスを怖がらないで、たくさんボールに触ること」など「ボールと仲良くなること」が大切であると説明したほか、ボールをつなげるためには、「声を出し、相手に気持ちを伝えること」が必要であるなどバレーボールを練習する上でのコツを伝授。また、上手になるポイントとして、監督やコーチに指示されたことだけをやるのではなく、「自分たちが何をを目指すのか」を話し合い、心を一つにしていくこと、他の選手のフォームなどを見て研究することなどをアドバイスしました。

参加した本別・足寄・陸別の小中学生約70人は、大山さんの話に耳を傾けながら真剣な眼差しで取り組み、爽やかな汗を流しました。



町国保病院に さこぐち 迫口太郎医師が 着任しました

6月3日、町国保病院に迫口太郎医師（37）が着任しました。迫口医師は、福岡県福岡市出身で、九州大学医学部卒業後、福岡県内の社会保険医療協会や大分県内の市民病院で勤務をされていきました。本別町では、外科・内科を問わない幅広い診療にあたっています。専門は消化器外科。

「いつも明るく、笑顔で」
をモットーに、

「患者の気持ちに寄り添う
診療」に努めたい

迫口医師は、本別町を選択した理由に、自分が求める幅広い診療を必要としていたことを挙げ、本別町では「患者の気持ちに寄り添う診療」に努めたいと力強く抱負を語られました。

前任地では、今年3月までDMAT（災害派遣医療チーム）隊員の資格を保有し、東日本大震災などさまざまな現場で活躍。出勤先で必要とされる外科・内科を問わない医療行為が、幅広い診療を求めるきっかけになったと話されました。

本別町の印象は、自然豊かで風光明媚な町と話され、町民の皆さんへ「何でも気軽に受診、相談してほしい」とメッセージを送ってくれました。自身のモットーは、「いつも明るく、笑顔で」。

趣味は料理で、「医者かコックになりましたか」と笑顔で答えてくれました。

DMAT

(Disaster Medical Assistance Team)
災害派遣医療チーム

医師、看護師などで構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場で、急性期（おおむね48時間以内）に活動できるように専門的な訓練を受けた医療チーム。



牛の世話や豆の種まきを体験 **5/26 6/11**

京都府八幡市立男山第二中学校3年生63人が5月26日、大阪府立箕面東高等学校3年生42人が6月11日、それぞれ修学旅行で本町を訪れました。生徒らは道の駅「ステラ★ほんべつ」で行われた受入式の後、町内の受け入れ家庭に分散し、牛の世話や豆の種まき作業など、都会ではできない生活を満喫しました。この他、箕面東高校の生徒らは6月12日、受け入れ家庭とのお別れ式終了後、ゲンキッチンでアイスクリーム作りを体験しました。



けがや病気に備え万全 **5/28**

家庭教育支援事業「なかよし」による救命救急講座が5月28日、子育て支援センターで行われました。本別消防署員を講師に、乳幼児の保護者など8人が参加。けがや病気など子どもの万が一に備え、気道確保や心臓マッサージの方法、AED操作などについて学びました。



町長がおじゃまします **5/24**

町民との直接対話町長がおじゃましますが5月24日、中央公民館で開かれました。この日は、本別町市街地婦人会（田原美枝会長）会員約40人が参加し、高橋正夫町長が4期16年で歩んだまちづくりについて説明。続く懇談では、同会が毎年実施している道の駅西側花壇の整備や公共施設利用料に対する要望など、活発な意見交換がされました。



高体連剣道大会 心技体の全てを尽くす **5/25**

本別高等学校で5月25日、17年振りとなる北海道高等学校剣道選手権大会十勝支部大会（道高体連十勝支部主催）が開催されました。大会には、団体戦に男子9校、女子4校、個人戦に男子56人、女子24人が出場。選手らは、6月19日から21日に釧路市で開かれる全道大会出場を目指し、厳しい攻防から心技体の全てを尽くした緊張感ある試合を展開しました。



男子個人決勝



各学校の手作りページ

HELLO 農業大学校



養成課程

養成課程のカリキュラムは、教養科目や専門科目の授業・実習はもとより、農場・牛舎で多くの実習を行います。また、2年目にはそれまでに得た知識・経験を元に、各自の課題に基づいたプロジェクトに自ら取り組み、農業経営者に必要な専門的な知識や技術・実践力を身につけます。農業指導に豊富な経験を持つ職員が、チーム体制で指導します。

農大市で農大産和牛肉の販売

帯広調理師専門学校とピザ作りで交流



畜産経営学科

畑作園芸経営学科



海外研修でオランダへ



海外研修でオーストラリアへ

稲作経営専攻コース

稲作経営専攻コースは、農業大学校（本別町）と拓殖大学北海道短期大学（深川市）の2つのキャンパスで学びます。農大では拓大の夏・春の各休み期間を利用し、2年間で約60日間の農業経営を主体とした集中講義、体験学習、視察研修等を実施します。残りの期間は、拓大の環境農学科作物生産コースの学生として学びます。なお、修了時には農大から修了証書、拓大から卒業証書（短期大学士）が授与されます。



拓大の行事にスタッフとして活躍



体験学習で受け入れ農家の皆さんと

農業経営研究科

農業経営研究科は、主として経営者の手腕を高めるための講義とマーケティングや農畜産加工など6次産業化に対応する実習を中心とした科目があります。また、各自の課題に応じた講義を専攻別に受けることができます。さらに、総合実習では学生の研究テーマに応じた実習を行います。学生一人一人が自ら設定した課題に対し、担当職員とともに解決に取り組む専攻ゼミ制をとっています。

アイスクリームの製造実習



マーケティング演習



北海道警友会功労会員 「賞詞」を受賞

6/14

6月12日に札幌市で開かれた平成25年度警友会表彰で、北海道警友会から功労会員として賞詞を受賞した緑町の木田弘さんが6月14日、役場を訪れ砂原勝副町長に受賞を報告しました。木田さんは、昨年まで警友会本別支部の支部長として31年間の長きにわたり、警察署と連携した交通安全運動や青少年防犯活動などに尽力。「苦労したことも多いが、受賞でき光栄に思っています」と喜びを語りました。



街中が色鮮やかに

今年も町内の各種団体などが、国道や町道、公共施設周辺の花壇にたくさんの花を植えました。街中が色鮮やかに彩られ、来町者や町民の皆さんの目を楽しませてくれています。



5/26 6/2

南4丁目自治会（橋本勝彦会長）、仙美里元町自治会（佐藤秋雄会長）、共栄自治会（島田敏会長）の会員が、国道242号線沿いの花壇を整備しました。帯広開発建設部からの補助を得て行われたもので、マリーゴールドなど約5,000株の花が植えられたほか、勇足元町自治会（佐藤猛会長）では、同補助を活用し芝ザクラの管理作業を実施しました。



5/31 市街地婦人会（田原美枝会長）の会員22人が道の駅「ステラ★ほんべつ」西側の花壇にペゴニア800株を植えました。



6/14 鎌田建設工業（鎌田健治社長）の職員8人が、町道共栄緑町線通りの花壇にサルビアなど900株の花植えと草刈り作業を行いました。



5/31 町自治会連合会（三枝金作会長）主催による花いっぱい運動では、国道沿いや公共施設等の花壇にサルビアなど6230株の花が植えられました。



6/19 野田組（野田仁社長）の社員10人が、町体育館と歴史民俗資料館周辺の花壇にインパチェンスなどの花500株を植えました。

迫力あるサウンド

6/8

第30回記念吹奏楽合同演奏会（町文化協会・中央公民館主催）が6月8日、中央公民館で開催されました。演奏会には、本別ジュニアプラスアンサンブル（本別中央小学校）、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、本別プラスアンサンブルの4団体約60人が出演し、クラシックや歌謡曲などを披露。最後の4団体合同による演奏では、アンコールを含め5曲の迫力あるサウンドで約200人の観客を魅了しました。



本別ならではの食材に

6/3

飲食店や農業者など町内の有志で組織される「ほんべつ食道」（柏崎秀行代表）による、本別産の小麦と黒豆を使った「黒豆生うどん」の試食会が6月3日、ゲンキッチンで開催されました。この日は、会員らが持ち寄った「汁なし坦々麺」「カルボナーラ」など5品のメニューを、参加した12人で試食。試食後は、「黒豆の香りをもっと出したほうがいい」「ふるさと給食のメニューに提案してはどうか」などの意見が交わされました。同会では、今後町内飲食店で黒豆生うどんを使った、メニューを提供してもらい、本別ならではの食材にしていこうことを目標にしています。



陶芸初体験

6/4~5

学校支援地域本部（三枝金作会長）事業の一環で、本別中央小学校（嶋山孝美校長、266人）6年生52人が6月4日、5日の2日間、町老人福祉センターで、本別陶芸愛好会代表の菅野夏子さんから3人の指導によるマグカップづくりを体験しました。子供たちは、あらかじめ作ろうとしていたデザインを思い浮かべながら真剣な表情で取り組み、初めてとは思えないほど上手に成形。思い思いにかたどられたカップは後日色付けされ、窯で焼かれ完成しました。



消防団合同演習

6/9

本別消防団（遠藤利之団長）第1・第2・第3分団合同による消防演習が6月9日、利別川河川運動公園芝生広場で実施されました。演習には、団員91人、消防車両など8台が出動。団員らは、力強い号令が響き渡る中、機械器具の点検、小隊訓練、一斉放水など、きびきびとした動きで日ごろの訓練の成果を披露しました。



みんなの健康

347

人は移動手段として2足歩行を獲得したことで、現在では靴下や靴等により足の指は窮屈なところに閉じ込められるようになりまし

足の指を動かそう



面でも冷え性対策や外反母

趾の予防・緩和に効果が期待できることから徐々に女性にも受け入れられるようになってきました。5本指靴下の最大の特徵は、一つ一つの指に対応して分かれた指先になっていることで、それぞれの指が自由に動くことが可能となり、歩く際にも個々の足の指が床をしつかりとつかむことができるようになるため、それが刺激となつて必然的に血行が促進されるといいうワケです。心臓から送られてくる血液の折り返し部分となる指先を適切に動かしてあげることが血行不良を解消し、血の巡りが悪いことから引き起こされる症状を改善に導いてくれるのです。また足指のバランスがよくなり、歩行の姿勢も正されます。高齢者に多い危険な捻挫や転倒を防ぎ、健康的な歩行を促します。グー(足の指全体を丸める)、チョキ(親指だけを立てる)、パー(足全体を床につけ、指を横に広げる)の運動や足指のストレッチを組み合わせるとより効果が上がります。

本別町国民健康保険病院
理学療法室
室長 小倉博志

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つね!



勇足元町
横山 大翔と
(木乃実ママ)



美里別高東
塚田 翼と
(朋子ママ)



勇足西5
上田 誠志郎と
(法子ママ)



柳町
天日 聡と
(和恵ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河ホムステーション

—足寄町・陸別町から—

足寄町

足寄町観光体験ツアー

足寄町内にはあなたの知らない観光名所・秘境・宝物が数多くあります。この機会にご家族や職場の仲間と気軽にご参加ください。

□とき **7月10日(水)**
※午前8時20分までに道の駅あしよる銀河ホール21北側駐車場集合

- 目的地 栄町一平和一茂足寄
- 内容 自衛隊足寄弾薬支処見学、オンネットー茶屋、雌阿寒温泉入浴など
- 参加費 1人1,000円 (昼食代・入浴料・保険料)
- 申込期限 7月5日(金) 午後5時まで
- 申込先・詳細 あしよる観光協会事務局
☎2516131

陸別町

第5回ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり

今年も、2日間で開催します。花火やお笑いステージショーなど多彩な催しで皆さんをお迎えします。ぜひお越しください。

□とき **7月20日(土)**
午後6時—午後9時
7月21日(日)
午前10時—午後4時

- ところ 20日 緑町サッカー場
21日 駅前多目的広場
- 内容 20日 花火大会、花火列車運行、クマップ・タ立トークショー、屋台
21日 お笑いステージショー(楽しんで)、もつ中学生)、歌謡ショー、銀河線縁日、子どもビンゴ大会、大抽選会
- 詳細 陸別町観光協会事務局
(陸別町役場産業振興課内)
☎2712141 内線135
陸別町ホームページ
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>

Information

白糠町 厳島神社例大祭

とき **7月28日(日)**
▼神輿大パレード
正午—南通り商店街

白糠のメインストリートで厳島神社の子供神輿を先頭に、町内外から参加した神輿団体がパレードを行うほか、白糠の各種郷土芸能も披露されます。

・奉納出演
白糠駒踊り保存会、白糠駒踊り音頭、しぐれ白糠音頭

▼名物 海中みこし!
午後3時—漁港東側海岸



白糠名物の海中神輿です。宮入り前のお神輿を海で清めます。波に飛び込む神輿と担ぎ手の姿は勇壮で、迫力があります。

ご寄付ありがとうございます

平成25年5月10日から6月4日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★東児童館指定
オルガン1台 …… 栄町 小澤一男
- ★本別町老人ホーム指定
タオル220本 …… 弥生町 高森良
ボックスティッシュ60箱 …… 本別好友民謡会 代表 島崎雪枝
- タオル50本 …… 本別町市街地婦人会 会長 田原美枝
- ★本別町中央公民館指定
タオル30本 …… 本別町市街地婦人会 会長 田原美枝
- ★本別町体育館指定
タオル30本 …… 本別町市街地婦人会 会長 田原美枝
- ★本別町指定
60インチ液晶テレビ1台・テレビ台1台 …… 株式会社帯広シティーケーブル 代表取締役 林浩史
- ★仙美里保育所指定
牛乳贈答券20,000円分 …… 拓農酪農振興会 会長 戸来敏典

本のある暮らし 148

図書館で夏休み充実

戸籍のまど

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

- 鎌田 悠生ゆうせいくん 崇優たかゆ子こさん 5/12 仙美里元町
- 大河内 昭香しょうかくん 寛朝かんあさ子こさん 5/14 南2丁目
- 樫 陽太やうたくん 貴寛きかん智恵ちえさん 5/22 北 糖
- 桐山 音果ねつちゃん 孝弘たかひろ美香みかさん 6/1 柏木町
- 加藤 郁斗いくとくん 龍一りゅういちさなえさなえさん 6/4 上押帯

ご結婚

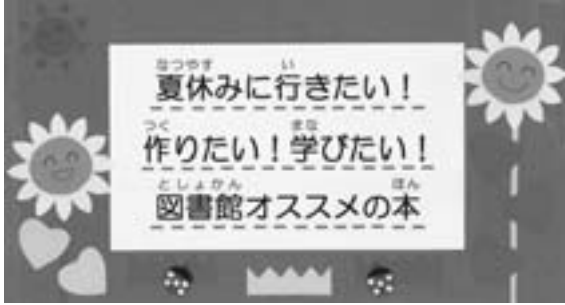
- (山田 正平まさひらさん 押帯
- (宮田 香菜かなさん 芽室町
- (岡本 一也いちやさん 向陽町
- (阿部 那奈栄ななえさん 向陽町
- (福家 督和とくわさん 朝日町
- (藤原 美里みりさん 帯広市

おくやみ

- 谷藤 正治まさぢさん 83歳 5/14 柏木町
- 井村 英夫ひでおさん 78歳 5/18 南4丁目
- 安住 秀雄ひでおさん 81歳 5/20 山手町
- 小坂 静男しずおさん 85歳 5/27 美里別西中
- 比企 知子ちこさん 81歳 6/1 向陽町
- 山本 陽子ひかりさん 58歳 6/5 北3丁目
- 庄野 テル工てるこうさん 88歳 6/7 負籠 1
- 西岡 利子としこさん 82歳 6/7 栄 町

わたしたちのまち

前月比
 人口 **8,010人(-1)**
 男 **3,934人(-2)**
 女 **4,076人(+1)**
 世帯数 **3,827戸(-3)**
 〔5月末日住民基本台帳〕



もうすぐ待望の夏休み。児童生徒の皆さん、図書館でたくさんの情報をキャッチして、有意義に過ごしましょう。こんなオススメの本コーナーが便利です。



行ってみたい観光スポットがたくさん!
 家族のお出かけに おすすめの本コーナー。

宿題はこれでバッチリ!
 夏休みの工作・自由研究お助け本コーナー。



せんそうってなんだろう?
 平和について考えるきっかけになる本コーナー。



各コーナーとも、新刊を中心にそろえました。ぜひご利用ください。

展示 8月19日(月)まで

お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称:ぶつくる一丸)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112